

初めての海外

藍住中学校 奥村 いろは

私はこのオーストラリアでの10日間でたくさんのことを学び、大きく成長したと思います。

出発式では、家族のみんなや校長先生などのたくさんの人たちに送り出してもらい、ここで改めて海外研修が始まるんだなと感じました。そして1日目はオペラハウスなどのシドニー観光でした。オーストラリアに着いたら日本と違って肌寒く、どこもかしこも英語でかかれています、すごく気持ちが高ぶりました。その日の夜に



ホストファミリーと合流しました。近藤さんと布川さんのホストファミリーと一緒に夕ご飯はホームパーティーでした。

2日目からは、オーストラリアでの学校生活が始まりました。学校に行くと日本と違うところがたくさんありおどろきました。スクールバスがあったり、学校内には好きな時間にしたいバレーコートや卓球のボード、午前中の間にティータイムがあったりしました。ティータイムでは、ホストマザーが用意してくれた軽めのおかしや、ティムタムなどを、バディの子と色々な話をしながら食べました。休み時間など少しでも時間があればバレーが始まるのですごくびっくりしました。バディの子たちに手作りの藍染めのハンカチや日本で買ったいちごのキーホルダーをあげるとすごく喜んでくれてとてもうれしかったです。



放課後には夕ご飯まで少し時間があるのでホストがいろんなところにつれて行ってくれました。4日目にはアボカビーチに行き、砂浜を少し散歩しました。ビーチの近くにあるフィッシュアンドチップスを食べました。海がよく見える席で食べる夕ご飯

はすごくおいしかったです。

また1日遠足ではワイルドライフパークに行きました。ここではミーアキャットやカンガルー、コアラ、エミュー、がちょうなど日本とはまた少し違う感じの動物園でした。コアラを抱っこすることはできなかったのですが、カンガルーをなでることができました。

その日の夜は夕ご飯の後にホストマザーとゲームをしました。ウノやチェス、パズルゲームなどのゲームをしました。英語の説明なのでできるか不安でしたが、なんとなく理解できて楽しくゲームができたので良かったです。

週末にはホストと一緒に大きなショッピングモールに行きました。そこでは日本の友達や家族、自分のお土産をたくさん買いました。

オーストラリアでの十日間はおどろきの連続でした。事前にオーストラリアの事について調べて行きましたが、実際に体験してみると想像とは全然違いました。この貴重な経験を活かしてこれからもがんばりたいと思います。

